

⑨ 日本国特許庁 (JP) ⑩ 特許出願公開
 ⑫ 公開特許公報 (A) 昭56-17385

⑪ Int. Cl.³ 識別記号 庁内整理番号 ⑬ 公開 昭和56年(1981)2月19日
 G 09 F 9/33 7013-5C
 H 01 L 33/00 7739-5F 発明の数 1
 審査請求 未請求

(全 4 頁)

⑭ ディスプレイ装置の製造方法

⑯ 発明者 市川修

⑰ 特 願 昭54-91683
 ⑱ 出 願 昭54(1979)7月20日
 ⑲ 発 明 者 定政哲雄

⑰ 出 願 人 東京芝浦電気株式会社
 川崎市幸区堀川町72番地

川崎市幸区小向東芝町1東京芝
 浦電気株式会社総合研究所内

⑳ 代 理 人 弁理士 則近憲佑 外1名

明 細 書

1. 発明の名称
 ディスプレイ装置の製造方法

2. 特許請求の範囲

(1) 発光ダイオードラミネートを薄状板に固着する工程と、該固着された発光ダイオードラミネートをアイソングして複数の発光ダイオードベレットに分離する工程と、該複数の分離された発光ダイオードベレットを粘着シートに転写する工程と、該粘着シートに転写した発光ダイオードベレットを位置固定する絶縁基板のダイパッド上或いは前記発光ダイオードベレット上の少なくともいずれか一方に選択的に導電ペーストを塗布する工程と、前記絶縁基板のダイパッド上に前記導電ペーストを介して選択的に前記発光ダイオードベレットを固着する工程と、該工程後に前記粘着シートを剥離する工程とを具備することを特徴とするディスプレイ装置の製造方法。

(2) 絶縁基板のダイパッド上に発光波長の異なる発光ダイオードベレットを固着して固着すること

を特徴とする前記特許請求の範囲第1項記載のディスプレイ装置の製造方法。

3. 発明の詳細を説明

この発明は発光ダイオード(LED)を用いたディスプレイ装置の製造方法に関する。

ディスプレイ装置には液晶、プラズマ、エレクトロルミネッセンス、LED等を用いたものがあり、電子計算機等から出力電気信号を可視化に変換して図像と人間の情報伝達をなすものである。特にLEDを用いたものは応答速度が良いことや、他方式に比べて明るいこと、又、多色表示が容易である等の特徴があり、ディスプレイ装置として有望視されている。しかしLEDを用いたディスプレイ装置の固着作業には多大な労力が必要とされ製造方法の改善が図られている。

LEDディスプレイの製造を簡単に説明すると、同一平面上に一発光単位となるドットを多数配列させて文字や図形をドットの点滅によって表示するものである。一発光単位となるドットは図1図中表示する如く例えば発色LEDベレット(15A)と

(1)

(2)